

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	教育学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 大学院設置の理念に基づく教育目標の明示方法を検証し、その改善を図る。	→「研究科ホームページにおける研究科の理念・目的・教育目標の明示の有無」「履修の手引きにおける研究科の理念・目的・教育目標の明示の有無」「研究科ホームページの内容を検討する委員会の有無と開催頻度および検討状況」	B	B	B	A	A
2. 大学院の教育目標と教育課程の整合性を検証し、その問題点を抽出し、改善を図る。	→「研究科の教育課程を常に検討する委員会の有無と検討状況」「学生による授業評価の実施率」「学生による授業評価を受けた授業改善の方策の作成と公表の実施率」	C	B	B	B	B
						☆
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 研究科委員会および大学院ホームページ担当委員によって、研究科の理念・目的・教育目標およびディプロマ・ポリシーの明示方法について検討・改善を行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 研究科再編に向けてディプロマ・ポリシーを検討し、必要な修正を行った。研究科の理念・目的・教育目標およびディプロマ・ポリシーを履修の手引きおよびホームページに掲載した。また、2013年度にホームページの内容をより見やすいものに一新した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、研究科の理念・目的・教育目標およびディプロマ・ポリシーの明示方法を検証する。	☆
		その他	☆
			☆
目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 大学院問題検討委員会、学部長室会、研究科委員会等において、教育目標、学位授与方針と教育課程の整合性を検討した。またカリキュラムポリシーの検討と必要な修正を行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 研究科再編に向けて教育目標と教育課程の整合性およびカリキュラムポリシーを検討し、必要な修正を行った。カリキュラムポリシーをホームページおよび履修の手引きに掲載した。「学生による授業アンケート」調査において、カリキュラムと学習効果の満足度に関する質問項目を設けており、実施率は100%である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 「学生による授業アンケート」の調査結果を受けた授業改善の方策の作成と公表については、今後、大学院問題検討委員会等で検討する。	☆
		その他	☆
			☆
備考		☆	